

ALUMINIUM NEWS

アスカ工業株式会社アルミニウムニュース

第 648 号
2015年 6月 1日
発行
アスカ工業株式会社
〒444-0303
西尾市中畑町卯新田上28

2014年度 アルミニウム 2次地金・合金生産 3年ぶり前年割れ・31%減

一般社団法人日本アルミニウム合金協会は、このほど2014年度（2014年4月から2015年3月まで）のアルミニウム2次地金と同合金生産と出荷実績を発表した。これによれば、総生産実績は814,670トンで前

年に比べ3.1パーセント減少した。また、総出荷実績は826,050トンで前年に比べ2.9パーセント減少した。

生産、出荷ともに3年ぶりに前年度実績を下回った。消費増税により、自動車販売台数や住宅着工戸数が減少して合金の需要が減少したほか、中国産合金地金の流入の影響が現れた。

産業部門別の出荷では、鉄鋼を除く全部門が減少となった。主力のダイカストと鋳物は、自動車生産台数の減少で3年ぶりにマイナスとなった。

期初には円安で自動車は増産が期待されたが盛り返さなかった。圧延は缶材が健闘し微減に踏み留まったが、押出しは住宅着工減少の影響が大きかった。

鉄鋼は、円安で輸出が堅調に推移し、6年連続の前年超えて独り健闘して目立った。

2014年度アルミ 2次地金・合金の生産と出荷

(単位：トン、カッコ内は前年比パーセント)

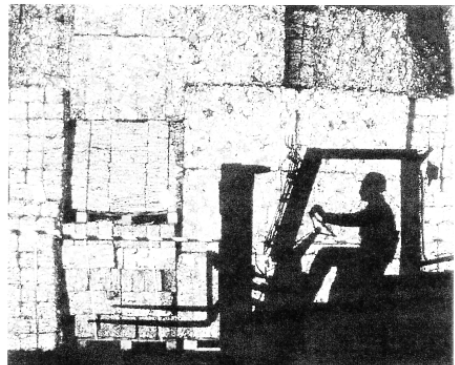
総	生	産	量	814,670 (-3.1)			
総	出	荷	量	826,050 (-2.9)			
部 門 別 出 荷 量	ダ	イ	カ	ス	ト	459,199 (-2.5)	
	鋳	物				212,255 (-4.9)	
	圧	延				58,209 (-0.6)	
	押	出				20,696 (-7.9)	
	鉄	鋼				46,558 (+5.4)	
	合	金	メ	ー	カ	ー	向

アルミ缶リサイクリング シーズン・イン

ゴールデン・ウィークを終わって気温の上昇と共にビールを始め飲料各種の消費が増え、アルミニウム缶の消費のピークを迎える。

例年6月から10月までアルミニウム缶のリサイクルが繁忙期を迎える。本年は特にコーヒー缶の増大が期待されている。

最新の合理的リサイクル・システムで大量処理に臨んでいる。(写真・アルミニウム缶)



日本ダイカスト協会 創立60周年記念式典

一般社団法人日本ダイカスト協会は5月21日、東京お台場のホテル日航東京で総会と創立60周年記念式典、記念祝賀パーティーを開催、190名が出席して創立60周年を大そう盛大に祝った。

式典で会長高橋新氏（株式会社アーレスティ取締役社長）は次のように業界60年の歴史を振り返り、業界の健全な発展を期待する意義深い挨拶を述べた。

高橋会長挨拶



創立60周年を迎えるに当り、この60年間を振り返って見ますと、協会が設立された1955年の日本のダイカスト生産はわずか6,000トンでありました。

しかし、右肩上りに堅調に推移、50年後の2005年には116万トンのピークに達しました。

その後2008年のリーマン・ショックや2011年の東日本大震災による生産の落込み、加えて円高下における顧客の海外展開の影響により、近年の国内生産量は100万トン前後を推移しております。

好調に需要が増加してきたこれまでと比べ、今後の需要動向には不安を持ちますが、需要家の皆様には、

日本のダイカスト産業の総合力をご理解いただき、日本国内での需要の維持と拡大を是非お願い申し上げる次第です。

日本のダイカスト産業は今日まで、優れた部品の供給を通じて、自動車、一般機械、電器、その他関連産業の発展に大きく貢献したものと自負しております。今度更に健全に発展していく為には、モノ作りの力のさらなる強化や新たな需要創出に加え、個々の企業の体力に応じた海外展開が求められていくものと思っております。

その道は平坦ではありませんが、私達が永年培ってきた技術力や匠の技を生かし、必ずや未来を切り開いて行けるものと信じております。

記念すべき60周年記念式典に当り、ご支援下さいました各界の皆様を重ねてお礼申し上げますとともに、引き続き変わらぬご指導をお願いする次第です。

(写真・高橋新会長)



アルミ缶回収の小・中学校表彰

アルミ缶リサイクル協会（理事長・白井啓一氏・ユニバーサル製缶株式会社取締役相談役）は毎年、アルミニウム缶の回収に取り組み、顕著な実績を挙げている小・中学校を表彰する「アルミ缶回収協力者優秀校表彰」を実施している。

この旅、平成27年度の推せん校の依頼が協会からアスカ工業株式会社へ寄せられており、当社ではアルミ缶納入業者の皆様から、回収実績のある小・中学校のご推せんを受付けている。

アルミ缶リサイクル協会は7月末で応募を〆切る予定である。

日本アルミニウム合金協会 通常総会開催

一般社団法人日本アルミニウム合金協会は5月19日東京虎ノ門の霞山会館で第41回通常総会を開催した。会長の改選で、新会長に北山悟氏（エスエスアルミニウム株式会社社長）が就任した。

総会のあと関係者110人が参加して懇親会が開催され、冒頭で北山会長は次のように挨拶した。

円安の進行を受け国産部品の採用率を高める国内自動車メーカーが相次いでいることは明るい兆し。一方エコカー減税の変更による新車販売の影響を懸念する。国内アルミニウム・スクラップの海外流出に伴う原料問題など、業界を取り巻く環境は依然として非常に厳しい。

社会的に確実に必要とされる産業であるという自信を持って、業界の総智・総力を結集したい。

来賓の挨拶に立った経済産業省製造産業局の井上幹邦非鉄金属課長は、

近隣国の輸出税の変更による貿易政策が、日本にどのように影響を及ぼすかを見きわめたい。

と現状を説明した。

総会の席上、高橋記念賞と3級溶解技能者認定試験の受賞者と合格者が発表された。

懇親会は業界、関連団体、報道各社から多くの出席者を迎えて盛大に挙行された。

高橋記念賞・3級認定試験

高橋記念賞は、アルミニウム合金地金・2次地金の製造ならびに関連する技術に関し、技術の向上、合理化、設備の改良、製品の開発及び品質と経済性の向上などに創意工夫を通じて功勞のあった現場の技術者に与えられる。

故高橋愛次氏（株式会社アーレスティの創業社長）のご遺志によって創立された業界で最も由緒ある賞で昭和54年（1979年）6月第1回が発足し、本年は第37回に当たる。

本年は、アスカ工業株式会社から谷亜由美さんを推せんし、目度く総会席上受賞した。谷さんは原料配合係として活躍、社員の信頼も厚く今回の受賞が決定した。女性の受賞は最近では例がなく、メディアの注目を集めている。

3級溶解技能者認定試験は、一般社団法人日本アルミニウム合金協会が技術の進歩に即応できる知識と技能の向上をはかる目的で、3ヶ月の通信教育を受けた者で所定の試験に合格した従業員が認定を受ける。

平成26年度3級溶解技能者の認定試験に、アスカ工業株式会社から神谷悠平さんが挑戦、この度の総会の席上合格証が授与された。



おめでとう

左から

神谷悠平さん
天野卓社長
谷亜由美さん



6月7日源徳寺 仁吉まつり

義理と人情の世界に生きた男、吉良の仁吉をしのぶ「仁吉まつり」が6月7日（日曜日）西尾市吉良町上横須賀の源徳寺で催される。吉良首頭の総あとり大会ははじめ地元物産展など多くのイベントが企画されている。

吉良の仁吉は江戸末期、伊勢の荒神山の決闘で穴太徳（あのうとく）と戦い、勝利を取めたものの銃弾を受けて死亡、28才であった。

多勢に無勢の不利の戦いをあえて買って出た背景は、一宿一飯の恩人神戸（かんべ）の長吉への熱い仁侠の心意気と伝えられ、源徳寺の墓は清水の次郎長により建立された。

源徳寺は名鉄西尾線上横須賀（かみよこすか）下車徒歩数分。左の立像は吉良図書館所蔵の吉良の仁吉。

社 内 情 報

- ◎高橋記念賞を受賞の谷由美さん、3級溶解技能者認定試験合格の神谷悠平さんのお2人に心からおめでとー！
- ◎全社員が今後の活躍を大いに期待しています。
- ◎隣接する矢作川の堤防の緑が1日1日を緑を増し、薫風と共に初夏の様相を呈しはじめました。
- ◎伊吹おろしの寒風のきびしさからすっきり解放されました。

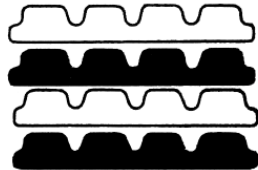
編 集 後 記

- 日本ダイカスト協会創立60周年記念式典が5月11日盛大に挙行されました。ご同慶にたえません。
- 60年間の業界の発展は目を見張るものがあります。今後も日本のダイカスト産業の健全な発展を大いに期待しています。
- 日本ダイカスト協会高橋新会長には、2010年秋のアスカ・セミナーの講師にご出講いただいたご縁があり、一層のご活躍を期待しております。

アルミ缶リサイクリング 鋳造用アルミニウム合金地金



アルミニウムそのものでは強さ、加工性などの点で不十分で、銅、シリコン、マグネシウム、亜鉛、鉄、マンガン、ニッケル等を用途に応じて添加合金しますと、非常に優れた強さ、鋳造し易さ、加工し易さ、耐熱性などが得られます。添加金属は非常に微量の場合もあり、そのため厳重な品質管理が要求されます。当社では発光分光分析装置を使用して、迅速・正確な品質管理の下で非常に優れたアルミニウム合金を作り、日本の産業の発展に寄与しています。



ISO 9001 審査登録

アスカ工業株式会社

〒444-0303

愛知県西尾市中畑町卯新田上28

TEL <0563> 77-0500 代

FAX <0563> 77-0501

http://www.al-asuka.jp/